



発行者兼編集者
 鵜 戸 神 宮
 社 務 所
 印刷所
 西 日 本 印 刷

鵜戸神宮 宮司長友安美氏
 神社本庁神職身分最高位特級昇進

新年あけましておめでとう御座います。氏子崇敬者の皆様方におかれましては、希望に満ちた新春をおむかえの事と存じお慶び申し上げます。

私共と共に鵜戸神宮に奉仕している長友安美氏は昭和四十二年一月当神宮宮司を拝命以来満十四年を迎え、この間御神殿の御改修・社務所・儀式殿・車祓所・神門・楼門・稲荷社等の御造営に携さわり、又県内はもとより広く神職の指導育成等の功績が認められ、この度神社本庁神職身分特級昇進の栄に浴しました。これも一重に皆様方の御支援の賜物と存じ上げ、当神宮役職員一同お祝い申し上げますと共に皆様方に御披露申し上げます。

宮司長友安美氏は明治四十一年五月十七日青島に生まれ、昭和五年國学院大学附属神道部へ入学し三年間神道学を学び、昭和八年卒業と共に青島神社社掌拝命、太平洋戦争勃発により下関要塞重砲兵聯隊に入隊、終戦翌年二十一年神職の階位である明階を授けられ、青島神社宮司に就任以来、県民生委員・社会教育委員を委嘱され多忙を極める中、昭和二十八年県の若手神職の会である、神道青年会々長におされ、若手神職の指導と会の運営に精進し、翌二十九年には神職身分二級に待遇され、昭和三十三年県神社庁理事及び教化部長の任に当たり、昭和三十五年日向国一の宮都農神社宮司を拝命すると共に県神社庁副庁長の任にも当たり、広く神社界の発展に寄与し三十七年には神職身分二級上に待遇されました。県神社庁参与・青島村会議員・宮崎市会議員・司法保護司・調停委員等要職を歴任する中、昭和四十二年一月二十日都農神社宮司より当鵜戸神宮宮司を拝命し、四十四年神職身分一級に昇級し現在に致っております。

宮司長友安美氏の功績は県内神社界はもとより広く県内社会教育、文化面又神社本庁にまで高く評価され、就任以来の鵜戸神宮境内整備等においては殊の外各方面に大きな影響を与え又青島神社顧問としては能舞台を配した儀式殿を建立するなど、その活躍はめざましいものがあります。

尚、本年は第五十代桓武天皇延暦元年秋、光喜坊快久宣命を奉じて神殿再興してより千二百年の佳年に当たり、延暦中興千二百年祭奉祝行事又記念事業等を計画しており、宮司長友安美氏が神職身分特級を受けたことは二重の慶賀と存じ皆様方にお知らせ申し上げます。

境内整備一覽表

年月日 境内整備

昭和四十三年七月	御本殿改修
昭和四十四年七月	社宅新築
昭和四十五年八月	社宅新築
昭和四十五年十一月	社務所新築
昭和四十六年十二月	社宅・職員寮新築
昭和四十七年十一月	神門・儀式殿新築
昭和四十九年四月	自動車祓所新築
昭和五十年十二月	樓門・上の御門
昭和五十一年十月	宝物庫・神符守札
昭和五十一年十月	庫等新築及び改築
昭和五十一年十月	稻荷神社改築
昭和五十一年十月	社宅・職員寮新築



— 樓 門 —



— 稲 荷 神 社 —



— 下 の 御 門 —



— 工 事 中 の 別 当 基 地 —



— 儀 式 殿 —

一、奉祝行事

桓武天皇延暦中興千二百年祭

奉祝祭	十一月九日
別当宮司先賢慰霊祭	七月十五日
四半の大会	二月十一日
劍道大会	二月一日

一、記念事業

参道玉垣整備	
下の御門改築	
別当基地整備	
山門新築	
別当宮司先賢慰霊碑二基建立	